

中田かわら版 10月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田地区経営委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所

制作：中田かわら版制作編集委員会

横浜市踊場地域ケアプラザ

■この人に会いたい<46>

人望篤く、すべて地域のため！



鈴木 正機さん

まさき
鈴木 正機さん (73歳) 山百合自治会

昭和20年7月18日、宮崎県日向市生まれ、父は陸軍少佐、父が日南海岸で陣地を構築していた終戦間際に生まれた。

平成16年4月、保健活動推進員に委嘱される。平成22年12月、民生委員・児童委員に委嘱される。その他、山百合自治会こども見守りの会会員、たまご公園愛護会会計監査。宇田川の水辺愛護会会員、山百合クラブ（老人会）班長、中下、山百合、若草健康教室役員。NPO法人青少年育成サポート

チーム・葛野理事、会計担当（葛野小学校キッズクラブ運営）など。

生来、人のためにと考えて過ごしており、様々な地域活動に対して何にでも顔を出して活動されている。ただ、会長やリーダーにと言われると自分には向いていないと思い、裏方に徹するようにやってきた。現在活動を続けている「保健活動推進委員」や「民生委員」は、当時自治会長だった元市議会議員の故中島憲五さんに「ぜひ、お前やってくれ」といわれ、仕方なく？引き受けたもの。保健活動推進委員は委嘱されて6年、引き続き民生委員になって8年が経った。光陰矢の如しを実感しているとのこと。

また、中島憲五さんが発行していた山百合自治会の広報誌「山百合新聞」の編集の後釜を引き受けて8年近く経過。原稿は主に勝野紘山百合自治会会長が書いている。月一回の発行だが編集作業は一苦勞。また、鈴木さんは、「山百合民生委員、児童委員たより」という新聞も発行。月一回のペースで、民生委員のさまざまな活動紹介と、行政からの重要なお知らせを載せている。更に一人暮らし、あるいは高齢者二人暮らしの見守りを兼ねて活動している。ポストに投函するときに、ポストに日々の新聞やチラシ等が溜まっていないか、洗濯物が干しっぱなしになっていないか等を確認している。

中田地区民生委員、児童委員協議会の高齢者担当としての活動は、一言でいえば「高齢者のサロンを普及させること」。サロンは民生委員、保健活動推進委員、友愛活動員の三者で運営しての高齢者を引きこもり状態にしないで、健康教室の場などに参加してもらうことが主な役割で、三者見守り活動の一環として行っている。高齢者対象の「若草・山百合・中下地区健康教室」では鈴木さんも役員として活動している。

鈴木さんは「中田地区には数多くのサロンがあるが、規模の大きな自治会町内会の中にも、まだ設立されていない所もある。これらの地域にサロン設立を勧めていくことが使命です」と決意を話している。



宇田川清掃活動



盆踊り大会

～一人ひとりがCO₂を減らす努力をし、美しい地球を子どもたちに残そう！～

(編集員 山木重樹)

11月のイベント

このチラシの情報をより詳しく知りたい方は、踊場地域ケアプラザ 葛西（かさい）まで問い合わせください。

TEL 801-2114 FAX 801-2923

【中田連合文化祭】

日時：11月10日(土) 17:00～18:00

11月11日(日) 9:30～14:45

場所：中田小学校体育館・グラウンド

内容：体育館にて作品展示。グラウンドにて、模擬店やゲーム、マーチング演奏など。



【みんなで外で遊ぼう！】

日程：11月5日(火) しらゆり公園

時間：10:00～11:30

対象：未就学児親子

費用：無料

内容：公園で楽しい外遊びを行います。

主催：中田連合地区経営委員会・しらゆり地区経営委員会

共催：中田・しらゆり子育てネットワーク



■中田の歴史記念物<1>

「出羽三山」供養塔（白百合公園内）

一見、ごく普通の道祖神のように見えるが、よくよく見ないと見逃してしまう石碑である。正面には左から立てに羽黒山、湯殿山、月山の3行の文字があり「出羽三山」であることが分かる。右には百番観世音菩薩、四国八十八ヶ所の2行が書かれており、左側は相州鎌倉郡岡津村とある。その隣に、施主 子金井新左エ門 同妻、と書かれている。大きさは塔身部で高さ50センチ、幅24センチ、厚さ17センチ。横浜市文化財調査報告書による正式名は「出羽三山供養塔」、形体は尖塔角柱碑と簡単に説明されている。



「出羽三山」（山形県）は古くから僧侶の修練場としておよそ1400年前から続く有名な山であり、四国八十八ヶ所は弘法大師（空海）の霊場で1番から88番が終ると高野山（和歌山県）にお参りをするのが習わしとなっていた。

*参考までに。88ヶ所巡りは「相模國準四国八十八ヶ所札所」も知られている。1番の感応寺（藤沢）から88番、普門寺（鶴沼）までの寺院。

その隣の百番観世音菩薩は坂東33ヶ所、秩父34ヶ所、西国33ヶ所の計100ヶ所を示しており、すべて巡礼すると、証明したお礼がもらえる。なお、百ヶ所の範囲は坂東（東北、関東）、秩父（埼玉県西部、荒川上流域の秩父盆地を中心とする地域）、西国（和歌山、奈良、京都など）となっている。

向かって左の相州鎌倉郡岡津村は明治元年（1868年）9月に神奈川県となる。それまでは相模國鎌倉郡と呼ばれていた。その横に施主 子金井新左エ門、同妻と書かれているところから、子ども夫婦か誰かが親の偉業を称えるために供養として建立したものと考えられる。建てられたのは文化11年（1814年）4月。なお、一般的には小金井もあるが、ここでは子金井が正しい。

■「中田の歴史記念物」を連載で、随時掲載していきます。この中田には歴史伝説や記念物がたくさん存在します。単なる紹介ではなく、私見を加えた楽しい読み物にしていきたい。（宮田）

「中田白百合地域情報サイト」にて地域の最新の情報や、かわら版バックナンバーなどを調べることができます。www.odoriba-cp.jpへアクセス！！